

2025 年度事業報告

概要

2025 年度事業計画に基づき、「望ましい産学連携教育の実践の観点から、教育効果の高いインターンシップを推進することで、次世代人材の育成に寄与し、もってわが国の経済社会の発展に資する」ことを目的として、事業活動を行った。

中核事業であるインターンシップ企業実習は、対面での実習に加え、オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド・プログラムなどの工夫がなされ、学生たちは実社会における貴重な学びと成長の機会を得た。

大学院修士 1 年生のインターンシップ「M1 エンカレ」は、就業体験を通じて学生の研究とキャリアパスを結びつける機会となり、実習後、採用につながる事例も生まれている。

企業実習の前後には、実習生交流プログラムを開催、経済同友会インターンシップの意義・目的の理解、目標設定、実習の振り返りと学びや気づきの共有、実習生同士の交流を目的として開催し、以後の学生生活における意識改革や行動変容を後押しした。

会員勉強会は、会員企業・大学等の担当者が人材育成やキャリア支援について学びを深めるとともに、会員同士のネットワーキングの機会となった。

インターンシップ実習生に継続的な学びと交流の機会を創出することを目的とした OB・OG 交流プログラムでは、はじめて「大交流会」を実施。全国より 100 名以上の学生や社会人が集い、学びと交流の場となった。また、実習生 OBOG による自主的な活動も始まっている。

実習成果報告会では、会員企業と大学から実習等の成果と課題について報告があり、会員相互の情報共有を図った。報告会終了後には懇談会を開催し、会員同士が積極的に交流を図る機会となった。

経済同友会インターンシップ事業

学生と企業を適切にマッチングするための情報の収集及び提供

(1) 2025 年度経済同友会インターンシップの円滑な実施に必要な連携と調整

2025 年度経済同友会インターンシップの企業実習に係るマッチングについては、前年度に実施した意向調査の回答結果をベースに検討及び調整を行ない、企業・大学等の担当者と連携しながら適切なマッチングを実現、その結果を 2025 年 3 月 26 日に会員へ通知した。

正会員企業社 29 中 24 社が実習生の受け入れを行い、145 名の学生が就業体験を通じて貴

重な学びを得ることができた（表1）。

学生を派遣する大学・国立高専機構では、事前・事後研修の実施等により、学生の学びと成長を後押しした。

実施方法は対面型 18 社、オンライン型 3 社、ハイブリッド型 3 社と、多様な形態で企業実習が展開された。

2024 年度より新規事業としてスタートした大学院修士 1 年生のインターンシップ「M1 エンカレ」には、企業 5 社、大学 5 校、学生 15 名が参加した（表2）。より実践的なプログラムへの参加は自らの研究とキャリアパスを結びつけて考える機会となり、複数の学生が実習先企業への就職に意欲を示す結果となった。

当協会の役職員が、10 社の企業実習を視察したほか、12 校の学内報告会に出席して、学生の気づきや決意など多くの成果を確認した。

■表1 2025 年度経済同友会インターンシップ実施実績

会 社 名	国立								公立		私立								高専	受入人数
	小樽商科	北海道	東北	埼玉	新潟	お茶の水女子	九州	琉球	岩手県立	山口東京理科	共立女子	工学院	上智	昭和女子	聖心女子	東洋	龍谷	京都橘	高専	
ADEKA								1		2		1					1		1	6
オイシックス・ラ・大地	1				1	1	2	1	1			1	1			1	1	1		12
キッコーマン				1							1			1		1				4
キッツ					1		1		1	1			1			1		1		7
コア					1	2				1		1								5
小松製作所	1		1																1	3
サントリーホールディングス		1												1			1	1		4
シグマックス	1	1				1		2					1	1		1				8
住友林業				1		1				1		1	1		1					6
第一生命保険	1	1		1			1	1		1				1			1	1		9
寺田倉庫					1								1		1					3
TOPPANホールディングス		1	1			1												1		4
日本航空	1	1					1	1	1		1					1		1		8
日本信号				1															1	2
日本たばこ産業									1	1		2				1		1		6
日本マクドナルド	1				1	1							1		1		1			6
日本レジストリサービス	1	1			1							1	1	1	1	1		1		9
野村ホールディングス					1	1							1		1			1		5
東日本旅客鉄道			2	1	1		1									1			1	7
みずほ証券	1	1	1	1					2	1		1				1		1		10
三井住友銀行							2	2						2		2	2			10
森トラスト																			2	2
ユー・エム・アイ						1	1		1	1				1			1			6
リコー		1										1			1					3
派遣人数合計	8	8	5	6	8	9	9	8	7	9	2	9	8	8	6	11	8	10	6	145

■表2 2025年度M1エンカレ実施実績

企業名	北海道	東北	琉球	東洋	龍谷	合計
ADEKA	1				1	2
キッツ			1			1
日本航空	2	3	2	1		8
日本信号			2			2
東日本旅客鉄道			1	1		2
合計	3	3	6	2	1	15

(2) 実習の成果と課題を会員等が共有し交流する「実習成果報告会」の開催

経済同友会インターンシップの成果と課題を会員及び当協会が共有し、次年度以降の事業改善につなげることを目的として、2025年度経済同友会インターンシップ実習成果報告会を開催した。報告会終了後には立食形式の会員懇談会を開催し、会員同士が積極的に交流する機会となった。

日 時	2025年11月25日(火) 16:00~19:00
場 所	帝国ホテル 牡丹の間/蘭の間
参加者	会員企業32名、会員大学等44名、関係者9名 合計85名
プログラム	- 開会挨拶 - 代表理事 横尾 敬介 2025年度経済同友会インターンシップの成果報告と課題報告 - 経済同友会インターンシップ推進協会 事務局 - 企業事例報告 - オイシックス・ラ・大地 株式会社 - 株式会社 日本航空 - 大学等事例報告 - 学校法人 龍谷大学 - 講評 - 日本学生支援機構 学生生活部長 佐藤 稔晃氏

(3) 2026年度インターンシップに係る学生・大学等と企業との適切なマッチングの実施

① 会員への意向調査とマッチング

2026年度インターンシップ事業のマッチングに関しては、2025年12月に会員に対する意向調査を行い、寄せられた回答結果を踏まえて適正なマッチング調整に努めた。このマ

マッチング結果については、2026 年 3 月に会員へ通知した。

② マッチング審査会の開催

2025 年 12 月 5 日に第 1 回の審査会を開催し、基本方針とマッチング方法について審査を行い承認した。また、2026 年 3 月 2 日の第 2 回では具体的なマッチング結果について審査を行い、これを承認して、2026 年 3 月 9 日の理事会に上程した。

2. 会員、経済同友会関係者、学生及びインターンシップ OB・OG による交流会の運営

(1) 実習生交流プログラムの開催

① 実習生プレミーティング

経済同友会インターンシップの意義・目的を理解し、同じ企業に派遣される実習生同士が事前に交流の機会をもつとともに、目標を共有することを目的として、実習生プレミーティングをオンラインで開催した。全実習生 160 名（うち M1 エンカレ 15 名）の約 81%にあたる 130 名が参加し、学生同士が積極的に意見交換を行った。実施後アンケートでは「実習参加への不安が解消できた」「他の学生から様々な刺激を受けた」など、ポジティブなコメントが多く寄せられた。

② 実習振り返りセッションの開催

企業実習を振り返り、学びや気づきを省察し、他の学生と共有することで個々の学びを一層深め、以後のキャリア形成につなげる機会として、実習振り返りセッションをオンラインで開催した。

就活支援・企業研修の分野で豊富な経験を持つコンサルタントが講師を担当し、学生は自身の経験・チャレンジを通した強みの棚卸しを行った。

実習生 OB・OG がファシリテーターとして参加し、グループディスカッションの進行をサポートした。

③ 企業経営者によるキャリア講演会の開催

10 月には企業経営者によるキャリア講演会を開催し、日本アイ・ビー・エム株式会社の代表取締役社長 山口明夫氏を講師として迎えた。山口社長には「変化の時代を自分らしく生き抜くために」をテーマにご講演いただき、何ごとにも誠実に取り組む大切さや日々成長し続けることの大切さを感じ、以後の学生生活での意識改革や行動変容につなげる機会とした。

	① 実習生プレミーティング
開催日	2025 年 8 月 2 日(土) 16:00～17:30
参加者	2025 年度インターンシップ実習生 130 名
内 容	・経済同友会インターンシップの意義・目的の確認 ・2025 年度経済同友会インターンシップの概要 ・交流会（目標の共有、参加にあたっての心構え）

	② 実習振り返りセッション
開催日	2025 年 9 月 25 日(木)／26 日(金) 18：30～20：30 ※いずれかの日程に参加
参加者	・インターンシップ実習生 100 名 ・インターンシップ実習生 OB・OG 19 名（ファシリテーター） ・正会員 22 名（オブザーバー）
講 師	株式会社オーシャンズジャパン 代表取締役 高橋信之氏
内 容	テーマ「実習の振り返り／学びの共有と定着」

	③ 企業経営者によるキャリア講演会
開催日	2025 年 10 月 21 日(火) 18：30～20：00
参加者	インターンシップ実習生・OB・OG 52 名 、正会員 11 名、計 63 名
講 師	日本アイ・ビー・エム株式会社 代表取締役社長 山口明夫氏
内 容	テーマ「変化の時代を自分らしく生き抜くために」

所属・役職は、開催日当時のもの

（２）OB・OG 交流会の開催

経済同友会インターンシップに参加した学生が継続的に学びを深め、交流する機会を創出するため、OB・OG 交流会を計 3 回開催した。

初めての対面企画「OB・OG 大交流会（2 月）」では全国から約 100 名以上が集まり、株式会社リコー 取締役会長の山下良則氏を講師に迎え、「人経営 " はたらく " に歓びを」をテーマにご講演いただいた。

	第 1 回 OB・OG 交流会
開催日	2025 年 6 月 13 日(金) 18：30～19：30
参加者	2022～2024 年度実習参加者（卒業生／在学生）29 名
内 容	経済同友会インターンシップ実習参加を共通項に持つ仲間との近況報告・情報交換

	第2回 OB・OG 交流会
開催日	2025 年 10 月 10 日(金) 17:30~20:00
参加者	インターンシップ実習生・OB・OG 10 名
内 容	・大阪大遠足(※)の報告 ※OB・OG による独自企画「大阪・関西万博視察(9/21)」に 34 名参加 ・自由テーマによるグループワークと発表

	OB・OG 大交流会
開催日	2026 年 2 月 19 日(木) 17:00~20:00
参加者	インターンシップ実習生・OB・OG、協会役員、関係者 110 名
講 師	株式会社リコー 取締役会長 山下良則氏
内 容	テーマ「人経営"はたらく"に歓びを」

所属・役職は、開催日当時のもの

(3) 会員勉強会の開催

経済同友会インターンシップ推進協会会員が人材育成やキャリア支援について学びを深めるとともに、会員相互の交流の機会とするため、2024 年度より会員勉強会を開催してきた。

講師として、株式会社リコー 取締役会長の山下良則氏を講師に迎え、「人経営"はたらく"に歓びを」をテーマにご講演いただいた。

ご講演後の質疑応答も活発に行われ、参加者からは、「実体験に基づく示唆に富む講演」であり、「企業のチカラ＝社員のモチベーション」「柔軟性と非連続思考の重要性」など多くの気づきと学びがあったとのコメントが多く寄せられた。

	会員勉強会
開催日	2025 年 10 月 2 日(木) 11:30~13:30
参加者	正会員担当者 協会役員 40 名
講 師	株式会社リコー 取締役会長 山下良則氏
内 容	テーマ「人経営"はたらく"に歓びを」

所属・役職は、開催日当時のもの

3. インターンシップの推進、調整、実態把握及び連携協力に関する活動

経済同友会インターンシップ推進協会として、文部科学省主催のキャリア形成支援活動表彰選考委員会等の活動に参画するなど、関連他機関との連携と情報収集につとめ、教育効果の高い経済同友会インターンシップの理解促進と普及に努めた。

4. その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

(1) 新規入会の促進

2025 年度期首の会員数は、正会員 48 法人（企業 29、大学等 19）、準会員 8 法人（企業 7、大学 1）、賛助会員 1 法人であった。

事業規模と学生の受け入れ人数を維持すべく、当協会と価値観を共有する企業・大学に対して入会勧誘を行った結果、正会員として新たに 2 法人（企業 1、大学 1）を迎えた。

一方で、正会員の退会が 5 法人（企業 4、大学 1）、正会員から準会員への変更が 1 法人（企業）であった。

その結果、2025 年度期末の会員数は、正会員 44 法人（企業 25、大学等 19）、準会員 7 法人（企業 6、大学等 1）、賛助会員 1 法人となった。

(2) 広報事業

① 「事業案内パンフレット」の制作

協会の活動を紹介するため、毎年制作する事業案内パンフレットの 2025 年度版は、経済同友会インターンシップ推進協会概要、インターンシップ実施の流れに加えて、企業実習事例を多く紹介し、新規会員開拓に活用した。

② 年間活動報告「2025 年度イヤーブック」の制作

2024 年度より、会員向けの年間活動報告を目的とした「イヤーブック」を作成しており、2025 年度も企業実習の写真を中心に、会員の記憶に残る活動報告書となった。

③ 「インターンシップ実習風景動画」の制作

今年度の新たな取組として、インターンシップ受入れ企業のご協力のもと、学生が実習する風景の動画（約 10 分間）を制作し、協会ホームページに掲載のほか、経済同友会ホームページにもお知らせ掲載した。実際の様子とともに真剣に取り組む学生の姿を企業側と学生の両コメント付きで紹介し、当協会のプロモーション活動、ならびに新規会員勧誘のツールとして活用した。

協力いただいた企業：

オイシックス・ラ・大地株式会社

動画掲載 URL：

https://youtu.be/G7tIH_xASGY



（３）法人の管理運営に関する事業

理事会の開催

回	開催日	出席者数	決議事項	可否
1	2025 年 5 月 22 日	理事 6 名 監事 1 名	・ 2024 年度事業報告（案）について ・ 2024 年度決算（案）について ・ 理事 5 名の選任について ・ 監事 1 名の選任について ・ 新規入会申込の許諾について ・ 2025 年度定時会員総会招集及び議題（案）について	可決 可決 可決 可決 可決 可決
2	2025 年 6 月 19 日	理事 6 名 監事 1 名	・ 代表理事の選定について ・ 専務理事の選定について ・ 事務局長の選定について	可決 可決 可決
3	2025 年 7 月 29 日	書面決議	・ 新規入会の許諾について	可決
4	2026 年 3 月 9 日	理事 7 名 監事 1 名	・ 2025 年度事業計画（案） ・ 2025 年度収支予算（案） ・ 2026 年度経済同友会インターンシップのマッチング結果 ・ 役員賠償責任保険の契約更新	可決 可決 可決 可決

会員総会の開催

	開催日	出席者数	決議事項	可否
	2025 年 6 月 19 日	67 名	・ 2024 年度決算承認の件 ・ 理事 5 名の選任の件 ・ 監事 1 名の選任の件	可決 可決 可決

以 上

事業報告附属明細書

2025 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当の事項はありません。

令和 8 年 4 月
一般社団法人経済同友会インターンシップ推進協会

以 上